



4月後半からの緊急事態宣言もあり、まだまだ新型コロナウイルスの影響も多くある中、ぱんだ組でも子どもたちが安全に安心して楽しく過ごせる様、環境作りに励んでいきます。

新年度が始まって1カ月が経ちました。初めてお母さん、お父さんと離れての生活に緊張や戸惑いで涙を見せていた子どもたちですが、徐々にぱんだ組での生活にも慣れてきて、棚にある玩具に興味を持ち、手に取って遊んでいたりと、電車の音がするとその方向を向き、指差しをして教えてくれたり、隣の長久保公園に遊びに行くと、アリ探しや砂遊び、斜面の上り下りをしたりと元気いっぱい体を動かして過ごしています。

今後も天気の良い日は戸外でたくさん体を動かし、良く遊び、良く食べ、良く眠り、毎日が楽しく元気に過ごせるようにしていきたいと思えます。



遊びの様子



ぱんだ組はどんなおもちゃで遊んでいるの？



指先で洗濯ばさみをつまみつけて遊んでいます。



棒を握り穴へ入れ、ポトンと落として遊んでいます。



つまんで手首を動かしてコロコロ回して遊んでいます。



車を見つけると「フ〜フ〜」と言っています。



この他にも沢山のパズルを用意しています。



お友だちと一緒にご飯を作り、テーブルに並べて一緒に食べたり、お人形の口にスプーンを運んだり、お世話をしながら遊んでいます。